

■ ふれあい倉庫情報

【カルチャーホール】

「当別町 140 年記念 父親を対象とした子育て講座 父子 de カメラマン」

当別写真同好会の会員がカメラの撮影ポイントなどを伝授します。町内で風景や人物などを撮影し、その後撮影した写真の講評会を行います。

▼日時 3月6日(土) 13時30分～16時(受付13時)

▼対象 幼児から中学生の児童生徒と父親(先着20組)

▼申込み・問合せ 町教委社会教育課
(白樺コミュニティセンター内・☎23-2511)

「第8回当別歴史講座」(最終回)

▼日時 3月20日(土) 13時30分～

最終回は「ふるさと・当別の未来に何を残すか」をテーマに、これまでの提言者によるプレゼンテーションと参加者によるディスカッションでこれからの当別について考えます。

▼問合せ 町教委社会教育課(☎22-3834)

▼問合せ ふれあい倉庫(☎27-6600)
商工課(☎23-3129)

4月上旬オープン 当別観光情報プラザ

当別町観光協会では、JR石狩太美駅に隣接する町の施設(旧太美出張所)を活用して「当別観光情報プラザ」を開設します。

このプラザは、本町の観光拠点として観光やイベント情報の収集や案内など、本町を訪れる方々へおもてなしができる場として、農産加工品など特産品のPR販売をする場や、町民の方が集える、展示できる、休憩できる場などとして準備を進めています。

詳しくは、チラシ・ポスター、4月広報・ホームページでお知らせします。

◆お寄せください

観光拠点準備室では、皆様からの情報をお待ちしています。当別の代表的な観光資源のほかに、特色のある場所や地域のイベント、多くの方へ発信したい情報などがありましたら、お寄せください。

▼連絡先 観光協会事務局(商工課内☎23-3129)
準備室(プラザ内☎27-5388)

続 町長の日記

平成22年2月14日(日)

今年の冬の始まりは暖冬で異常な感じだったが、1月からは気温も低く雪が降り続いて当別の積雪量は今日で平年並みになった。

町内の住宅地の排雪を利用して今年も「あそ雪のひろば」に当別町の60以上の団体が協賛して延べ600人ぐらいの方がいろいろな雪像を作ってくれたが、中でもこの不況の中、数百万円も費やして今年も建設協会が造ってくれた雪像は当別開拓140年に因んで2連式で140フィートの大滑り台で町内外の沢山の子供達が楽しんでいた。

そして夕べは「140」という文字の仕掛け花火が浮かび上がった。

私は、当別の創世の先駆者の碑だけでなく全生命を当別開拓で終った牛や馬の忠魂碑まで、いろいろな開拓記念碑が建っているすぐ側の「あそ雪のひろば」の開会式で当別町140年と雪像に大きく刻まれたステージに立って感動のあまり、異常な大声で「この先50年、100年経った時、当別町140年の時を生きていた私達も又、この町を愛していたと言う確かな証しを残しましょう」と挨拶した。

あの時、事前に考えていた訳ではない言葉が出たのは、多分、記念碑の下で眠っておられる先人に応えなかったのだと思う。

今朝、出かける前に年輩の御婦人がお二人で我が家に来られた。大変珍しい方がどんな御用かと思ったら、聖バレンタインデーのチョコを持ってきて下さった。

今迄もバレンタインデーにチョコレート色々頂いたが、年上の方から頂いたのは初めての事だったから、大変恐縮してしまっただが、端無くも子供みたいに嬉しさを抑え切れなかった。

義理チョコとか夜の営業チョコとかユーモアと楽しいジョーク混じりの軽い感謝のプレゼントがほとんどだったのに、わざわざ遠くから雪道を歩いて来られた御婦人が、一息ついた後、ゆっくりと帰られる後姿は、まるでゴッホかミレーが描いた名画のように私の目に焼きついた。

折りしも、バンクーバーオリンピックが始まったばかりだが、オリンピックで金メダルを貰った選手でも、こんな気持ちは味わえないだろうと思った。この町には、なんて素敵な人が住んでおられるのだろう。

当別町長泉亭俊考